



地域学校協働活動と キャリア教育の広報紙

てなむ

学校向け

◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター
◆ 小林市キャリア教育支援センター

【小林市社会教育課】 TEL22-7912
【小林商工会議所】 TEL23-4121


ユンボで魚釣り

西小林小5年生の「土木の日出前授業」のひとつです。ショベルカーの他にも、測量や剪定、ドローンの操縦、コンクリート塗りなど、7つの仕事を体験しました。子どもたちが楽しく熱心に活動している姿を見て、この日の授業が仕事や働くことへの関心を高めるきっかけになればと思いました。



※「土木」は「十・一・十・八」に分解できるので、11月18日は「土木の日」です。今回は県の事業として、小林土木事務所・建設業協会・造園組合等の協力で実施しました。

子どもたちが仕事に接する機会の一つに中学2年生の職場体験学習があります。事業所との事前打合せで、学校は活動のねらいを伝えたり、生徒への事前事後の指導を行ったりしていることでしょう。

数日前の夕方、三松中の玄関前では、職場体験から帰ってくる生徒を、先生方が名簿で確認しつつ迎えていました。「思い出に残る体験ができたならいいな」と思いながらその様子を見ていました。

幸ヶ丘小 幸っこフェスタ



前半は、生駒たたみ店の大岩根さんの指導で、小物を置く敷物にもなる「ミニ畳」を家族や先生方と一緒に作りました。針を使う難しい作業は大人に手伝ってもらい、全校児童が立派な作品を完成させました。

後半は、子どもと大人のグループに分かれての話し合い活動。地域の皆さんと吉藤議長を始め4名の市議会議員も加わり、幸ヶ丘の今後について話し合いました。テーマは「子どもたちのよりよい未来のために、自分は何ができるか」。幸ヶ丘や生駒高原の活性化のためのアイデアがたくさん生まれ、子どもたちは生駒高原を巡るスタンプラリーについて発表しました。

地域の活性化に役立つ子どもたちのアイデアを、いろいろな授業で見聞きます。学習発表会等で発表することもあります。アイデアの多くが広く知られることはありません。「もったいない！」といつも思っています。

幸ヶ丘小では、子どもたちの発表の後すぐに、地域おこしの団体が、「協力します」と手を挙げてくれました。

東方中 パラスポーツ交流



東方中生とこすもす支援学校中学部の生徒がチームを組み、ボッチャとフライングディスクで交流を深めました。昨年に引き続いての開催です。同じ敷地内に学校があり、普段から顔を合わせる機会も多いことから、ごく自然に、協力しながら競技を楽しんでいました。ボッチャでは、東方中生が補助器具でボールの方向や高さを調節し、フライングディスクでは支援学校の生徒と交替で審判を務めました。

終わりの会では、支援学校の森永校長先生から「いろいろな人と関わり、お互いのことを考え、一緒に楽しむ…。こんなことを、これからも生活の中で学んでください」との講評をいただきました。

永久津中 租税教室

3年生


自己紹介で、「大学卒業後、働きながら資格を取り、今は自分の税理士事務所で働いています」と濱田さん。最初に、税金がなくなった世界を描いたアニメを通して税の役割を考えました。その後、パンフレットを用いて、一般会計当初予算、歳入と歳出、税の使われ方、税の特徴などについて詳しく学習しました。

【濱田さんより】大人になるにつれて払う税金も増えます。その使われ方を知る大人になってほしいと思います

細野中 演劇教室

劇団 民話芸術座


民話芸術座は東京都中野区に本部を置く1976年創立の劇団。小・中・高校での公演を中心に活動しています。公演前、5人の生徒が心と体の緊張をほぐす体操と腹式呼吸の発声を習い、朗読劇「銀河鉄道の夜」の一部を演じました。

【生徒の感想より】◆ 緊張したけど楽しかったです。
◆ 緊張しましたが、練習通りできて良かったです。

裏に続きます。

三松中 岩戸神楽

2年生



毎年、2年生全員が舞や演奏、裏方で一役を担い、岩戸神楽保存会(田原会長)の指導で、文化発表会で披露しています。当日は、神楽の起源と継承活動、生徒の役割分担の紹介の後、天岩戸開きと剣の舞、薙刀の舞などを披露しました。会場では、岩戸神楽の学習をしている三松小の4年生も熱心に鑑賞していました。

その後、1年生が農業体験学習、3年生が小林市未来予想図について発表しました。

みんなでやってみよう

西小林中3年生、西小林小・幸ヶ丘小1年生



毎年行っている3校の交流会です。中学3年生がいろいろなゲームと賞品を準備して迎え、1年生はグループで回って中学生と一緒に楽しみました。

終わった時の1年生の手には、ゲームでもらった手作りのお土産がたくさん。一列になって見送る中学生に手を振って、笑顔で帰っていきました。

野尻中 薬物乱用防止教室



小川智子さん(管理薬剤師:坂尾薬局)野尻小・中出身

若者の薬物乱用が増えている現状や危険性についてDVDと講話を通して理解を深めました。「約75%が大麻の危険性を認識していませんでした」との小川さんの言葉に生徒たちはびっくり。身体機能や脳への影響、依存症、脱法ドラッグによる事件や事故、オーバードーズ(医薬品の過剰摂取)の危険性、エナジードリンクやカフェイン、自分を守る方法などについてお話を聞きました。

紙屋小・中 鑑賞教室



出演は「かんがみぞ」、和太鼓と篠笛のユニットです。オリジナル曲の他、神楽ばやしをアレンジした曲や宮崎県の民謡などを演奏。子どもたちは、太鼓のリズムに合

わせて手拍子をしたり体を揺らしたりしながら楽しく聴いていました。途中、篠笛の種類と音色の紹介や児童・生徒とのセッションもありました。

【児童の感想とお礼】 ◆ 迫力があってすごかったです。 ◆ リズムに乗ることができました。 ◆ 演奏を聞いて音楽に興味がわきました。僕は最後の曲が良かったです。

栗須小 スマホ・ネット安全教室

NTTドコモのオンライン教室



2学年ずつ「安全」に関わるテーマで実施しました。

【1・2年生】 ルールやマナーと一緒に学んでいこう
浦島太郎のアニメを観て、クイズに答えながらスマホの正しい使い方を考えました。

【3・4年生】 ①ネットやスマホの上手な活用と危険を考える
②普段の生活で小さな危険がないかをチェックする
③「すぐに広がる」など、ネットの特性を意識して使う

【5・6年生】 ①リスク(危険)の考え方を身につけよう
②「自分」と「ともだち」のリスクの違いに気づこう

3年生以上は話し合い活動を通して学習を深めました。5・6年生の授業では、「人気No1」などの商品の「評価」をどう判断するかの内容もありました。

当日は人権擁護委員4名も参観して、困った時の対応や相談窓口のお話をしてくださいました。

野尻小 いもほり

1・2年生



5月に植えた「べにはるか」の収穫を、10月下旬に学校横の畑で行いました。協力は東麓地区営農組合とJAこばやし、保護者の皆さん。子どもたちは大きいもを見つける度に歓声を上げ、楽しく活動していました。作業の合間には大人との会話も弾み、異世代交流の貴重な機会にもなりました。収穫したいもは家庭へのお土産に持って帰りました。

さつまいもの苗植えと収穫は「食育」を目的として毎年行われています。大塚原認定こども園と野尻保育園の子も参加しました。